

全国各地から2万4千人超の災害ボランティアが駆けつけ本県で活動



7月の九州北部豪雨により県内に設置されていた災害ボランティアセンターについては、7月31日に熊本市が、8月3日には菊池市と南阿蘇村が閉所し、8月20日の阿蘇市災害ボランティアセンターの閉所により、県内すべての災害ボランティアセンターの活動を終了しました。

これに伴い、7月13日から本会に設置した県災害ボランティアセンターも8月20日をもって閉所しました。

今回の災害については、いずれの被災地においても、昨年3月に発生した東日本大震災での支援経験を活かして、速やかな災害ボランティアセンターの立ち上げが行われ、センターの設置期間中には、全国各地から延べ24,109名ものボラン

【汚泥除去作業を行うボランティア(阿蘇市)】ティアが活動に参加しました。また、被害が甚大だった熊本市と阿蘇市のセンターには、九州ブロックから長崎県、鹿児島県、沖縄県の社協職員や東日本大震災での支援の恩返しにと福島県の社協職員4名も支援に駆けつけるなど、大きな「絆」も生まれました。

多方面にわたる関係機関・団体のご支援等により、数多くのボランティアの方々の参加が得られ、当初の見込みよりも早期に収束に向かうことができ、紙面をお借りしまして、心より感謝申し上げます。

なお、今回の災害における県災害ボランティアセンター並びに被災地災害ボランティアセンターにおける情報発信のあり方や被災者とボランティアとの調整方法などセンターの運営のあり方については、今後見直すべき課題もあることから、県内の社協や関係機関と課題を共有しながら、なお一層の運営体制と被災者への支援体制の強化に努めてまいります。



【活動上の注意を聞くボランティア(阿蘇市)】

県福祉サービス運営適正化委員会委員決まる

8月20日(月)に開かれた選考委員会の同意を得て、社会福祉法第83条に基づく県福祉サービス運営適正化委員会の委員が、次のとおり決まりました。(敬称略)

選考区分	委員所属団体	氏名	更新
有し社会福祉に 関する者	ア 公益を代表する者	県社会福祉士会	藤澤 美保 再
		県民生委員児童委員協議会	羽室 アツミ 新
	イ 福祉サービス利用援助事業の対象者を支援する団体を代表する者	県手をつなぐ育成会	松永 和治 再
		ウ 福祉サービスの提供者を代表する者	県老人福祉施設協議会
法律に関し学識経験を有する者	県弁護士会	田尻 和子 再	
医療に関し学識経験を有する者	県医師会	林 邦雄 再	
	県精神保健福祉士協会	茶屋道 拓哉 新	

任期：平成24年8月21日～平成26年8月20日

社会福祉振興基金の助成先決まる ～民間福祉団体・小規模団体～

平成24年度社会福祉振興基金の助成金交付が、次のとおり決定しました。

1 民間福祉団体活動への助成

	団 名	事 業 名
1	熊本市発達障がい者支援センターみなわ	熊本市発達障がい者支援センターみなわ開設記念講演会
2	熊本県ネイチャーゲーム協会	自然体験からつながる回想法～シェアリングネイチャー～
3	熊本県難聴者中途失聴者協会	聞こえのサポーター養成講座
4	熊本県高齢者障害者福祉生活協同組合	防災&減災カフェイン長嶺西3丁目

2 小規模団体活動支援事業への助成

	市町村名	団 体 名	事 業 内 容
1	熊本市	特定非営利活動法人 イルカの会	パソコン・業務用調理機器の購入
2	熊本市	社会福祉法人 やまびこ福祉会	入居者の技能習得用パソコン購入
3	熊本市	NPO法人まちくらネットワーク熊本 就労支援センタージョイナスコーヒー	パン・コーヒー外部販売作業機材整備事業
4	八代市	NPO法人とら太の会 みのみり	作業環境の改善と利用者の健康維持のためのシーリングファン設置
5	山鹿市	NPO法人プレス	パソコン・通信機器の事務機器購入
6	宇城市	NPO法人 宇城きぼうの家	くつろぎや癒しのための環境整備事業
7	合志市	プレジャーワーク(株)	店舗・作業場の環境設備
8	菊陽町	NPO法人 やすらぎ福祉会	作業部門の増設に伴うパソコン購入
9	芦北町	NPO法人ばらん家	IT学習用機器の購入並びに環境整備
10	相良村	社会福祉法人 友愛苑	男女更衣室内外壁補修工事

テーマは“つながり”「第6回火の国ボランティアフェスティバル荒玉」11月開催

あらたま

「ボランティア活動日本一」を目指して「第6回火の国ボランティアフェスティバル荒玉」が11月10日(土)・11日(日)の両日、玉名市の九州看護福祉大学を会場として開催されます。

1日目は、「つながり」をテーマとした地域再生の基調講演や、地域づくり、ボランティアリズム、災害、学生の活動の4テーマによりボランティアを考える分科会、地元の食材を活かした交流会が予定されています。2日目には、にわか劇の披露や、地域の方々から募集した笑顔の写真に、参加者が投票し優秀作品を決定するコンクールが実施されます。

荒尾・玉名地域が一体となった本大会です。多数のご参加をお待ちしております。詳しくは、9月上旬に各市町村社協を通じて開催案内を配布しますので、お問い合わせください。

市町村社協生活福祉資金相談員会議開催される

平成24年度市町村社協生活福祉資金相談員会議を県総合福祉センターで8月27・28日の2日間の日程で開催しました。

本会議は現下の厳しい雇用情勢から多様化する相談者のニーズに対応するため、各市町村社協の生活福祉資金貸付の業務担当者を対象に毎年開催しており、制度や実務についての説明・演習を通して意見交換を行っています。

今年度は、35社協62名の参加があり、活発な意見交換が行われました。



第55回熊本県児童福祉施設合同キャンプを開催しました



第55回熊本県児童福祉施設合同キャンプを7月27日(金)から30日(月)までの3泊4日の日程で、南阿蘇村「久木野村教育キャンプ場」にて開催しました。

今年は県内の児童養護施設8施設から、児童と職員を含む総勢160名が参加し、計画されたプログラムのもと、楽しく規律ある共同生活を送りました。

また、「九州北部豪雨」で阿蘇地域が大きな被害を受け、復旧作業中の開催でしたので地元南阿蘇村への日ごろの感謝をこめて、キャンプ期間中に職員15名で被災者家屋の汚泥除去作業などを行いました。

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆「熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業」の制度改正に関する説明会のご案内◆ 加入事業主の皆様への説明会を次のとおり開催します。 日時・場所 ① 9月24日(月) 13:30~15:30 八代ロイヤルホテル ② 9月26日(水) 13:30~15:30 メルパルク熊本 ③ 9月27日(木) 13:30~15:30 メルパルク熊本 内容 県民間退職共済事業の現状と制度改正について</p>	<p>◆『熊本見守り応援隊』にかかる平成24年度見守り模擬訓練実施民児協が決定しました◆ この訓練は、『熊本見守り応援隊』協定に基づき、地域において支援を必要とする方々を、協定締結機関及び地域の関係機関等と連携し、見守り支援する『地域見守り活動』を推進することを目的に実施されます。 今年度の訓練実施民児協は、以下のとおりです。 ・玉名市民児協(実施地域:玉名市横島町) ・天草市民児協(実施地域:天草市牛深町)</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆福祉・介護施設等アドバイザー派遣事業◆ 弁護士・公認会計士・社会保険労務士・中小企業診断士をアドバイザーとして事業所に派遣し、要望に応じた専門的な指導・助言を行います。 (相談内容) ・施設利用者等のクレーム相談や職員研修について ・就業規則、給与の見直しやキャリアパスについて ・接遇マナーや施設の経営について ※秘密は厳守、ご利用は無料、事前の予約が必要です。</p>	<p>◆教育支援資金就学支度費受付のご案内◆ 来年度に入学を予定されている方の就学の際に必要な支度費用の申込みについては、次のとおりの取扱いとなりますのでお知らせします。 受付期間 受付中(締切:入学する月の前月15日まで) 要件 日本学生支援機構等、他奨学金を申込みこと。 その他 合否結果が判明していない場合は、合格通知の代わりに受験票等でも申込み可能。 ※教育支援費については原則入学の2月前から受け付けます。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440
<p>◆平成24年度熊本県介護支援専門員更新研修(実務経験あり:20時間)の開催について◆ 平成18年度専門研修受講修了者及び平成19年度更新研修53時間受講修了者であり、かつ平成24年度に介護支援専門員証の有効期間が満了する者であって、介護支援専門員として現在実務に従事している者又は受講修了後に従事した経験を有する者(平成10年度及び11年度の登録者)を対象に10月から開催されます。詳しい内容は、実施主体である熊本県介護支援専門員協会にお問い合わせください(Tel096-234-8338)。</p>	<p>◆市町村社協広報紙等への記事掲載のお願い◆ 今後、少子・高齢化や精神障がい、知的障がいをお持ちの方の地域生活への移行が進むなかで、本事業に対するニーズは増加・多様化していくものと予想されます。本事業の広報・啓発を行い、より一層の利用促進を図るため、広報・啓発用の原稿を作成しました。市町村社協あてに原稿とデータを送付しておりますので、広報紙への掲載などにより、関係者並びに地域住民への周知について、ご協力ください。</p>
ボランティアセンター	ご案内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	<p>◆9月は「老人の日・老人週間(月間)」◆ 9月15日が「老人の日」、同月21日までの1週間を「老人週間」と平成13年の老人福祉法の改正で定められています。 今年の標語は、「みんなで築こう 安心と活力ある長寿社会」です。 本会では、毎年、有料頒布しておりますので、ぜひご活用ください。</p>
<p>◆市町村社協ボランティアコーディネーター研修会のご案内◆ テーマ『災害ボランティアセンター運営とニーズ班のあり方を考える』 被災地社協職員と県ボランティアセンター所長との対談・鼎談、被災状況に応じたニーズ票へのボランティアの人員と必要資材の割り出し方の演習などを行います。 期日 平成24年9月10日(月)10:30~ 講師 いわき市社会福祉協議会 草野 淳 氏(助) 会場 熊本県総合福祉センター5階 研修ホール</p>	